

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">地域情報論</p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部教福3 回生 文学部コミ3 回生 教育教福3 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">中村 雅司</p>		
<p>授業テーマ</p> <p>地域社会における情報通信技術の役割と可能性、問題点、課題を考察する</p>				
<p>授業の概要と目標</p> <p>現代社会を「情報」という切り口で見たとき、情報化を推進し利便性を向上させようという動きと、情報化によって生じる危険性に反発する動きがあります。情報化により強固なネットワーク型社会が生まれましたが、その結果、われわれ人間はどのような利益を得て、どのような人間関係が生まれてきたのでしょうか、あるいは情報化による危険性や問題点とは何なのでしょう。この授業では、さまざまな観点と立場から「情報」と「社会」について深く考察することを目標とします。</p>				
<p>評価方法</p> <p>随時、授業時間内に授業の内容にあわせた課題をまとめてもらいます。また、前期末・学年末に応用的なレポートを課します。これらを総合的に評価します。</p>				
<p>テキスト</p> <p>適宜資料を配付します。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>		
<p>参考書</p> <p>適宜紹介します。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>		
<p>授業スケジュール・内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 40%;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 社会における情報の歴史 (1) 3. 社会における情報の歴史 (2) 4. 社会における情報の歴史 (3) 5. 行政と情報通信技術 (1) 6. 行政と情報通信技術 (2) 7. 行政と情報通信技術 (3) 8. 行政と情報通信技術 (4) 9. 行政と情報通信技術 (5) 10. 行政と情報通信技術 (6) 11. ユビキタスコンピューティング社会 (1) 12. ユビキタスコンピューティング社会 (2) 13. ユビキタスコンピューティング社会 (3) 14. ユビキタスコンピューティング社会 (3) 15. 前期のまとめ 16. 情報通信技術と知的財産権 (1) 17. 情報通信技術と知的財産権 (2) 18. 情報通信技術と知的財産権 (3) 19. 情報通信技術と知的財産権 (4) 20. 情報通信技術と知的財産権 (5) 21. Linux (1) 22. Linux (2) 23. Linux (3) 24. 地域社会と情報通信技術 (1) 25. 地域社会と情報通信技術 (2) 26. 地域社会と情報通信技術 (3) 27. 市民活動と情報通信技術 (1) 28. 市民活動と情報通信技術 (2) 28. 市民活動と情報通信技術 (3) 30. まとめ </td> <td style="vertical-align: top; width: 60%;"> <p>この授業についての紹介</p> <p>コンピュータ誕生以前の人間社会と情報の関わり</p> <p>コンピュータ誕生後の人間社会と情報の関わり</p> <p>情報ネットワークによる人間社会と情報の関わり</p> <p>e-Japan 構想の歴史</p> <p>e-Japan 構想の具体的内容</p> <p>e-Japan 後の情報化施策</p> <p>自治体における情報化施策の歴史</p> <p>自治体における情報通信技術の活用</p> <p>住民基本台帳ネットワークシステム</p> <p>ユビキタスコンピューティング社会の歴史と現状</p> <p>TRON プロジェクト</p> <p>RFID と IC カードの社会</p> <p>今後のユビキタスコンピューティング社会とは</p> <p>ふりかえり、前期末レポートの作成に向けて</p> <p>知的財産権・著作権の概略</p> <p>デジタル著作物と著作権保護</p> <p>音楽・映像著作物と著作権保護</p> <p>ファイル交換システムと著作権の侵害行為</p> <p>フリーソフトウェアの思想 (GNU を例に)</p> <p>サイバーコミュニティが生んだソフトウェア — Linux</p> <p>Linux の歴史と思想</p> <p>Linux の現状と将来</p> <p>グループワーク (課題の決定と討論)</p> <p style="text-align: center;">//</p> <p>グループによる発表</p> <p>グループワーク (課題の決定と討論)</p> <p style="text-align: center;">//</p> <p>グループによる発表</p> <p>情報通信技術の可能性や限界、今後についてまとめる</p> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 社会における情報の歴史 (1) 3. 社会における情報の歴史 (2) 4. 社会における情報の歴史 (3) 5. 行政と情報通信技術 (1) 6. 行政と情報通信技術 (2) 7. 行政と情報通信技術 (3) 8. 行政と情報通信技術 (4) 9. 行政と情報通信技術 (5) 10. 行政と情報通信技術 (6) 11. ユビキタスコンピューティング社会 (1) 12. ユビキタスコンピューティング社会 (2) 13. ユビキタスコンピューティング社会 (3) 14. ユビキタスコンピューティング社会 (3) 15. 前期のまとめ 16. 情報通信技術と知的財産権 (1) 17. 情報通信技術と知的財産権 (2) 18. 情報通信技術と知的財産権 (3) 19. 情報通信技術と知的財産権 (4) 20. 情報通信技術と知的財産権 (5) 21. Linux (1) 22. Linux (2) 23. Linux (3) 24. 地域社会と情報通信技術 (1) 25. 地域社会と情報通信技術 (2) 26. 地域社会と情報通信技術 (3) 27. 市民活動と情報通信技術 (1) 28. 市民活動と情報通信技術 (2) 28. 市民活動と情報通信技術 (3) 30. まとめ 	<p>この授業についての紹介</p> <p>コンピュータ誕生以前の人間社会と情報の関わり</p> <p>コンピュータ誕生後の人間社会と情報の関わり</p> <p>情報ネットワークによる人間社会と情報の関わり</p> <p>e-Japan 構想の歴史</p> <p>e-Japan 構想の具体的内容</p> <p>e-Japan 後の情報化施策</p> <p>自治体における情報化施策の歴史</p> <p>自治体における情報通信技術の活用</p> <p>住民基本台帳ネットワークシステム</p> <p>ユビキタスコンピューティング社会の歴史と現状</p> <p>TRON プロジェクト</p> <p>RFID と IC カードの社会</p> <p>今後のユビキタスコンピューティング社会とは</p> <p>ふりかえり、前期末レポートの作成に向けて</p> <p>知的財産権・著作権の概略</p> <p>デジタル著作物と著作権保護</p> <p>音楽・映像著作物と著作権保護</p> <p>ファイル交換システムと著作権の侵害行為</p> <p>フリーソフトウェアの思想 (GNU を例に)</p> <p>サイバーコミュニティが生んだソフトウェア — Linux</p> <p>Linux の歴史と思想</p> <p>Linux の現状と将来</p> <p>グループワーク (課題の決定と討論)</p> <p style="text-align: center;">//</p> <p>グループによる発表</p> <p>グループワーク (課題の決定と討論)</p> <p style="text-align: center;">//</p> <p>グループによる発表</p> <p>情報通信技術の可能性や限界、今後についてまとめる</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 社会における情報の歴史 (1) 3. 社会における情報の歴史 (2) 4. 社会における情報の歴史 (3) 5. 行政と情報通信技術 (1) 6. 行政と情報通信技術 (2) 7. 行政と情報通信技術 (3) 8. 行政と情報通信技術 (4) 9. 行政と情報通信技術 (5) 10. 行政と情報通信技術 (6) 11. ユビキタスコンピューティング社会 (1) 12. ユビキタスコンピューティング社会 (2) 13. ユビキタスコンピューティング社会 (3) 14. ユビキタスコンピューティング社会 (3) 15. 前期のまとめ 16. 情報通信技術と知的財産権 (1) 17. 情報通信技術と知的財産権 (2) 18. 情報通信技術と知的財産権 (3) 19. 情報通信技術と知的財産権 (4) 20. 情報通信技術と知的財産権 (5) 21. Linux (1) 22. Linux (2) 23. Linux (3) 24. 地域社会と情報通信技術 (1) 25. 地域社会と情報通信技術 (2) 26. 地域社会と情報通信技術 (3) 27. 市民活動と情報通信技術 (1) 28. 市民活動と情報通信技術 (2) 28. 市民活動と情報通信技術 (3) 30. まとめ 	<p>この授業についての紹介</p> <p>コンピュータ誕生以前の人間社会と情報の関わり</p> <p>コンピュータ誕生後の人間社会と情報の関わり</p> <p>情報ネットワークによる人間社会と情報の関わり</p> <p>e-Japan 構想の歴史</p> <p>e-Japan 構想の具体的内容</p> <p>e-Japan 後の情報化施策</p> <p>自治体における情報化施策の歴史</p> <p>自治体における情報通信技術の活用</p> <p>住民基本台帳ネットワークシステム</p> <p>ユビキタスコンピューティング社会の歴史と現状</p> <p>TRON プロジェクト</p> <p>RFID と IC カードの社会</p> <p>今後のユビキタスコンピューティング社会とは</p> <p>ふりかえり、前期末レポートの作成に向けて</p> <p>知的財産権・著作権の概略</p> <p>デジタル著作物と著作権保護</p> <p>音楽・映像著作物と著作権保護</p> <p>ファイル交換システムと著作権の侵害行為</p> <p>フリーソフトウェアの思想 (GNU を例に)</p> <p>サイバーコミュニティが生んだソフトウェア — Linux</p> <p>Linux の歴史と思想</p> <p>Linux の現状と将来</p> <p>グループワーク (課題の決定と討論)</p> <p style="text-align: center;">//</p> <p>グループによる発表</p> <p>グループワーク (課題の決定と討論)</p> <p style="text-align: center;">//</p> <p>グループによる発表</p> <p>情報通信技術の可能性や限界、今後についてまとめる</p>			